

酸素発生反応のための金クラスター担持 NiFe-LDH ナノシート電極 における触媒特性

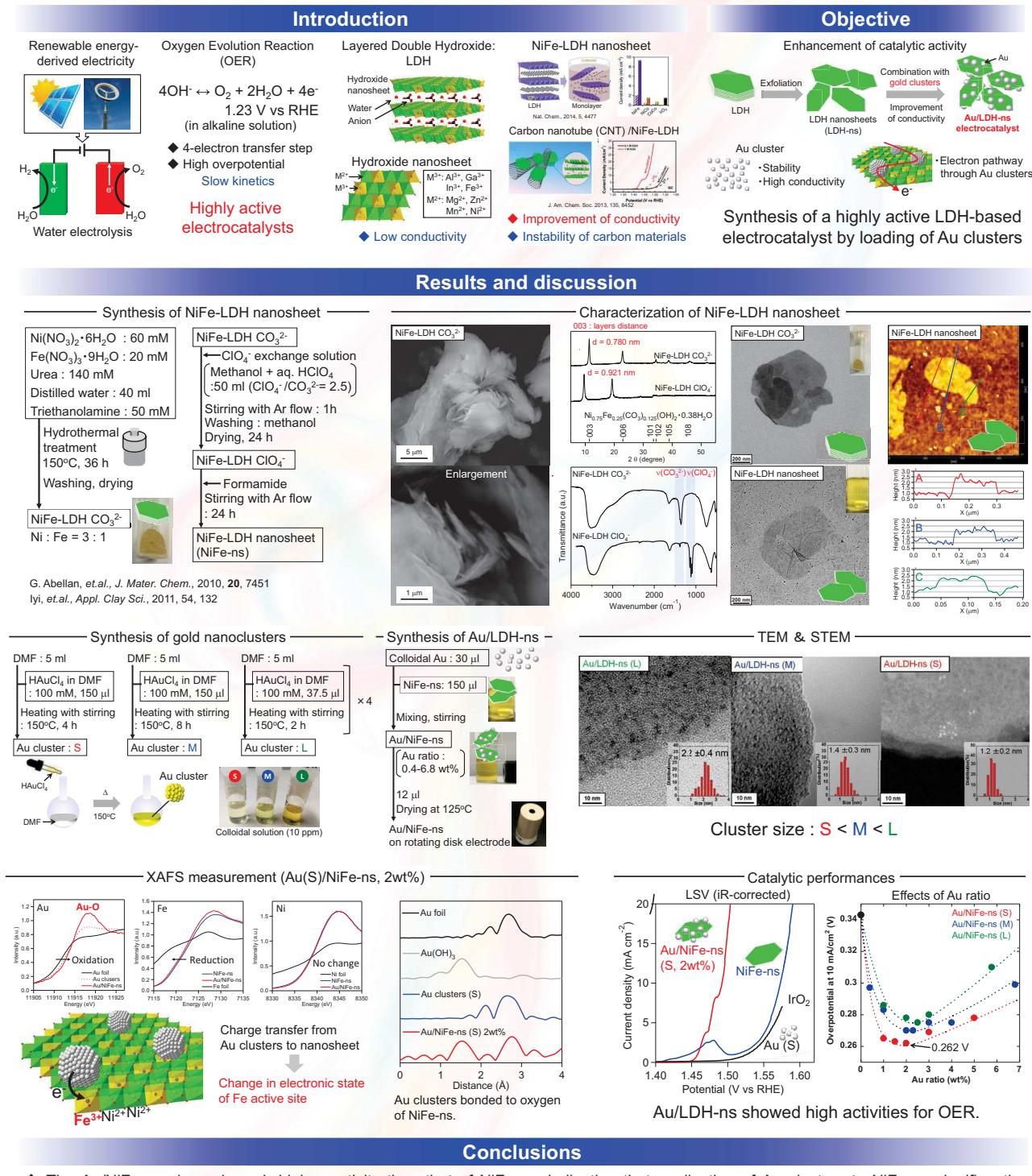
北野 翔、山内美穂

九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所

再生可能エネルギー由来の電力を用いた水電解によるグリーンな水素生成は、次世代のエネルギー運用において必要不可欠な技術である。水の 4 電子酸化を伴う酸素生成反応は未だ過電圧が高く、高活性な電極触媒の合成が求められている。層状複水酸化物 (LDH) は、2 値と 3 値の金属イオンで構成される金属水酸化物ナノシートと、ナノシート間に挿入されるアニオンおよび水分子によって構成される層状化合物である。近年、 Ni^{2+} と Fe^{3+} を含む LDH (NiFe-LDH) から剥離したナノシートが酸素発生反応に高い活性を示すことが報告された。本研究では、NiFe-LDH ナノシート (LDH-ns) に金クラスターを担持し、酸素発生反応のための高活性な電極触媒の合成を試みた。STEM 観察および AFM 測定より、単層に剥離された LDH-ns 上に平均粒径 1.2 nm 程度の金クラスターが高分散に担持されていることを確認した。1 M KOH 水溶液中で酸素発生反応を行ったところ、金クラスター担持ナノシートはナノシートのみと比較して 80 mV 低い過電圧を示した。XAFS 測定から、ナノシートと金クラスター間で電荷移動が生じ、活性点であるナノシートの Fe^{3+} の電子状態が変化したため活性が向上したことが明らかとなった。

酸素発生反応のための金クラスター担持NiFe-LDHナノシート電極における触媒特性

○ 北野 翔、山内 美穂 (九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)



Conclusions

- The Au/NiFe-ns showed much higher activity than that of NiFe-ns, indicating that application of Au clusters to NiFe-ns significantly improved catalytic activities.
- Performances of the Au/NiFe-ns electrocatalyst depended on size and amount of gold clusters, and smaller Au clusters were preferable for higher performances of the Au/NiFe-ns.